

座談会 小規模作業所“夢想工房”内田秀美さんをお招きして 報告

2月17日(土)10:00~12:00 あいあい研修室にて

参加者：中谷・坂地・小南・三輪親子・真瀬・木下（木下さんの友人）・藪原・浜野

働くために今から身につけておくことは・・・

このテーマで、日ごろ夢想工房で働く皆さんの様子から思うところを話していただきました。

大切なことは、まず休まずに毎日行くこと。その為には、生活スタイルを働ける暮らしの方向に持っていくこと。そして、できないことをせめるのではなく、ほめていろいろなことを覚えてもらう。良い体験をたくさん積むことが大切。これを夢では大切にしています。

次に、人間関係でつまずいて仕事を辞める子が多いので、幼児期に心を豊かにすることが大切です。選択肢をいっぱい知っている子は、つまずいてもストレスを解消する手段を持っているから大丈夫。

現在、夢想工房では県の就労サポート事業を受け、作業所の通過型施設として一般就労した子ども達のフォローも考えている。一般就労したとしても、安心する場として夢が存在し、時折その後の様子も観察に行きフォローをしていく。

休みの過ごし方も、市なり団体なりの支援が必要なのではとも思います。

子育てというのは、子どもの心を育てることです。大切に育てられた子は、やさしい。また、何歳になったからという決め付けは不必要で、いつかは自立します……。その子に合った年齢があるんです。仕事を休みたいというときは、連絡をしましょう。黙っ



て休むのはだめです。こんなお話を交え、2時間半座談会形式で質問に対し丁寧に、施設の指導員として、また時には、一人の母親として経験に基づいた話をしてくださいました。話し出したら止まらないそうで、座談会はまたお願いしたら出向いていただけそうです。また一人心強いパワーのある方を見つけました。

